

第125回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2022年9月7日（水）18：30～19：45

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 23名

3 会議内容

<新規提案>

（1）ヒトゴトじゃない！不登校シミュレーション～急に“その日”がくる前に～

【概要】

- ・主に小学生の親を対象に、わが子が「学校に行かない」といった場合を想定し、各家庭での対応を考えるイベントを開催したい。何かこちらから教えるのではなく、各家庭が「うちはどうだろうか？」と考えるお手伝いになればよい
- ・不登校当事者の集いは多くあるが、当事者になる前に対策が考えられる機会は少ない
- ・友人の不登校家庭に訪問看護を行っている看護師にも、現場からの視点で意見を発表してもらおう予定

【意見】

- ・親子で参加するのか
基本、親のみの参加を想定している
- ・中学生や高校生の親も対象とするのか
興味があるのであればぜひ参加してもらいたい。ただ、この先不登校になるかもという心配は、小学生の親御さんの方が多いかと思った
- ・このイベントで参加者の意見や発言に対する回答や解説などはあるのか
自分の意見の紹介くらいはすると思うが、正解や解決方法を話すことはない。あくまでも考えるきっかけとなるイベントにしたい

（2）プラモデルを作る会 ??からはじまるプラモデル

【概要】

- ・好きなもので大人も子供も繋がれる場所として、プラモデルの作成を楽しむイベントを開催したい。今までは作成中のプラモデルのサポートをする方式であったが、初心者にも楽しんでもらえるよう、プラモデルの作り方を紹介する講義の時間も取り入れる。

・プラモデルは立体のパズル、生きもののプラモデルであれば、立体の資料としても扱え、創造性を養えるものであることも伝えたい。

【意見】

・初心者はどんなプラモデルがオススメか教えて欲しい。前回のイベントの申込み時にも同じような質問が多くあった

おすすめリストを作成し、図書館に提出する予定

(3) ほめほめモードであいうえお

自分の字にうっとりしましょう！（ひらがな・漢字）

【概要】

・親子で一緒にひらがなのおけいこができるイベントを開催したい。両親やおばあちゃん、おじいちゃんに頑張って書いた字をたくさんほめてもらって、お子さんに書くことを楽しんで、自己肯定に繋がるよう自分の字を好きになって欲しい。

・漢字やひらがなを書く際のちょっとしたポイントを解説し、うっとりできる字を書けるようになるイベントを開催したい。結婚式などで字を書くことに抵抗がある人の話を聞いており、字に対しての苦手意識をずっと持っていてしまっている人にむけて、自分の字が好きになれるお手伝いをしたい

・ と のどちらかをまずは実施したい。どちらがいいか意見が聞きたい

【意見】

・今の子どもたちは字を書く能力が著しく低下しており、それがコミュニケーション力の低下にも繋がっていると聞く。自分の字を好きになることは、その改善の第一歩になると思う。ぜひいいイベントにしてほしい

・テキストは全員に無料で配るのか？

自作のテキストを配布する予定

・イベントの時間は1時間くらいか？親子でのイベントにするのであれば、子どもは長時間だと疲れると思う

1時間と指定があれば、その時間にあわせて実施する。テキストの残りは家でやってもら

・親子のイベントも興味深いですが、大人向けのイベントにはぜひ参加したいと思う

会議内で出た意見を踏まえ図書館と相談し、どちらを開催するか決める

(4)「2分で心をうるおす名曲セラピー」著者が語るおはなし会～心が軽くなる人生のヒント～

【概要】

- ・5月に開催した同タイトルのイベントについて内容を見直して改めて開催したい。参加者の年代によって、紹介する曲を調整する予定。
- ・日本の名曲の歌詞をとりあげて、そこに込められた明日への力、希望の活力が湧くようなメッセージを伝えたい。

【意見】

- ・本からの紹介であるため難しいかもしれないが、対象が高校生以上ということで、最新の曲を取り入れれば、若い年代も参加しやすいのではないかと
基本は本からの紹介だが、新しい曲の発掘もしているので、色々提供できるようにしたいと思う

(5) 子ども学校(仮)

【概要】

- ・7月に開催した誰もが先生となり好きなことに関する授業が行える「みんなの寺子屋」において、特に子どもが先生を務めた授業が好評であった。そこで、子どもの先生だけにしぼったイベントを行いたい
- ・1授業30分(製作系は50分)でそれを1日に何コマか行い、学校のようにしたい。先生は小学生から高校生まで、できれば冬休みに開催したい。
- ・7月の寺子屋では先生を務めてくれる子どもを探すのに苦労した。もし、身近に「先生をしたい!」という方がいれば、ぜひ協力いただきたい

【意見】

- ・7月はどのような授業がされたのか
子どもの先生の授業では、歴史上の人物に関して調べた結果の紹介や、昆虫の捕まえ方・飼育の解説、漢字の奥深さの紹介、折り紙の教室が行われた
- ・先生はどのように募集するのか
今回は企画者の側で探し、声をかける予定。
- ・1日に何コマかの授業を一気に行う方式だと思うが、準備が大変ではないか。1日に一つだけ授業をしてもらう方式では、ニュアンスが変わってしまうのか。
学校形式にこだわりたい

(6) ことば蔵 de ハワイアンフラッシュ

【概要】

- ・9/1に開催したハワイアンフラッシュをもう一度開催したい。
- ・前半はショーを楽しんでいただき、後半は座ったまま楽しめるダンスを紹介。最後はみんなで踊り、デトックスしてほしい。

【意見】

- ・内容は9/1に開催したものとほぼ同じなのか
今のところその予定。

<イベント実施報告>

(1) ハーモニカ演奏会

- ・ 7/7(木)開催、参加者は19人。奏者が増えることによる演奏の幅の広がりを知っていただくため、7人でのアンサンブルを披露し、計18曲が演奏した。
- ・ 図書館での開催に関連付けて「赤とんぼ」の歌詞を紐解いてから演奏したり、コードハーモニカなど様々なハーモニカを紹介するコーナーも行った。

(2) 自分のキャリアを磨こう！

- ・ 参加者は3日間で9人。ワークを通して、自分のこれまでのキャリアや経験を共有した。
- ・ 少人数での開催となったため、ディスカッションの時間を多くとることができ、よい交流の場となった。

(3) 世界にひとつだけのオリジナルすごろくを作ろう！

- ・ 参加者は3日間で24人。3日間にわけて子どもたちに18コマのすごろくをつくってもらいイベントを実施した。
- ・ 作る作業は単独であるが、3日間同じ場所で作業することで、子どもたちがお互いに刺激をうけることで集中力が高まり、全員がすごろくを創りあげることができたと思う。

(4) 親子で遊ぼう！紙芝居 vol.3

- ・ 参加者は10人。はがきサイズの紙4枚に起承転結で紙芝居を書いて、最後に発表をした。
- ・ 図書館の図鑑を置いたところ、直ぐに見に来てくれて用意してもらってよかった。またお父さんの作品発表もあり面白いイベントとなった。

(5) 大人と一緒にミライのメイシをつくろう！

- ・ 参加者は2日間で8人。1日目にワークシートを作りながら、自分の将来について考え、2日目のメイシ作成までに、色々と調べてもらう期間を設けた。
- ・ 将来なりたいものを表現したメイシはその場でカラー印刷し、職員と企画者とのメイシ交換を行った。

(6) おすすめ本の交換会カエボン部

- ・ 参加者は4人。テーマは「祭り」。夏祭りや秋祭りをテーマにした本や、祭りのシーンが印象的な小説、ネットでの炎上を祭りとして表現する文化についての考察本など様々な本が紹介された。
- ・ 次回は9月14日(水)18時30分～ テーマ「秋を感じる一冊」で開催

(7) 漫画を語ろう！

- ・ 参加者は5人。テーマは「ホラー漫画」。漫画の紹介の他、ホラー漫画の定義や幽霊よりも妖怪が登場する漫画が多いのではないかという考察など、様々な話し合いが行われた。
- ・ 次回は9月28日(水)18時30分～ テーマ「時間移動する漫画」で開催。

(8) 第3回そろそろPTAについて考えよう会

- ・ 参加者は23人。企画者がPTAの一員となって感じた大変さについて、どうにか軽減できないか行った改革の結果を報告した。
- ・ 今回は中学校の先生にも発表者として参加いただき、色々な情報交換を行った。

(9) ??からはじまるプラモデル

- ・ 参加者は途中の入れ替わりを合わせて32人。これまでは参加者に作りたいプラモデルを持参してもらっていたが、寄付で初心者向けのプラモデルをいただいたため、手ぶらも参加できるようにした。
- ・ 説明書を読み解いて順番通りに作るには読解力が必要、それを養うために読書を大切にしてほしいというメッセージも伝えた。

(10) ことば蔵 de ハワイアンフラッシュ&ワンポイントレッスン

- ・ 参加者は19人。10曲のフラダンスが披露されたほか、BGMの解説もあった。
- ・ 後半は座ったまま手の動きで楽しめるフラダンスを練習し、最後は全員で一緒に踊って楽しんだ。

4 次回の運営会議 2022年10月5日(水)18:30~ ことば蔵1階 交流フロア